

行財政改革大綱後期実施計画

実施事項名	総合計画における協働型マネジメントサイクルの構築			重点項目番号	1				
現状、問題点、必要性 (なぜやるのか)	【現状】 平成18年度総合計画が策定され、基本計画や実施計画に基づき市の事業が実施されている状況である。 【問題点、必要性】 基本計画の生活課題の達成度を確認するため成果指標の設定、進捗状況の点検を行う市民委員会の設置等により、進行管理を行うこととしている。 【現状の客観的な説明】 総合計画は、市の最上位に位置付けられる行政計画であり、長期展望に立った計画的、効率的な行政運営の方針を示す計画である。事業は総合計画に基づき実施されるものである。			番号	⑦				
				担当課(執行する課)	企画振興部 企画調整課				
				責任者名(執行責任者)	企画調整課長 西岡幸彦				
				担当課電話番号	22-9620				
対象等(なにが、だれが)	総合計画の生活課題			財政効果額(千円) (いくら削減されるのか、いくら収入増となるのか)	【金額】				
成果(対象がどうなるのか)	課題の実現及び解消のための、数値目標の設定や点検ができる。				【算定根拠】 ※本事業に係る直接的な効果額は記載できないが、総合計画の進行管理という形で別途公表していく。				
実施する内容・目標数値 (対象を成果の状態にするために、何を、いつまでに、どのようにやるのか)	【実施内容】 市民委員会を設置し、生活課題の数値目標の設定、計画の進行状況を点検する。 【目標数値】 《最終目標》各生活課題の数値目標の設定を行い、目標の検証により総合計画の進行状況を点検する。 《平成20年度の目標》市民委員会の設置、生活課題に関するアンケートの実施、数値目標の設定を行う。 《平成21年度の目標》設定された数値目標と現状値により、計画の進行状況を点検する。 【目標の客観的な説明】 総合計画において、「成果指標」により計画の進行管理を行うとしており、市民委員会の役割として、協働型マネジメントサイクルを循環・確立させる、生活課題を改善していく上での点検、目標値の検討等があげられてる。			特記事項					
					行程表(いつまでにやるのか)				
目標を達成するための活動指標(全体目標を達成するために個別に実施する項目) (何をどれだけやるのか)	活動指標名	目標値	定義・算定式	平成20年度		平成21年度		平成22年度	
				4月	10月	4月	10月	4月	10月
	市民委員会の設置		委員会を毎年度3回開催	⇐					
	アンケート調査の実施、検証			⇐⇐					
	アンケート結果の報告、周知			⇐⇐⇐					
	成果指標、数値目標の設定			⇐⇐⇐⇐					
	施策の達成度の検証及び見直し			⇐⇐⇐⇐⇐		⇐⇐		⇐⇐	